

北海道矯正歯科学会

一般口演・症例発表・症例報告、抄録投稿の手引き

I. 申し込み方法

北海道矯正歯科学会ホームページ (<http://www.hos.gr.jp>) より応募用書類をダウンロードし、必要事項を記入の上、下記宛先へ E-mail に添付して下さい。FAX、または郵送による受付はしておりません。

II. 抄録本文について

記載は、ワープロソフト Word (Microsoft 社) をご使用ください。

1. 表紙の体裁

和文は全角、英文および数字は半角で記入してください。

タイトルのフォントは MS ゴシック、14 ポイント、ボールドをご使用ください。

氏名のフォントは MS 明朝、12 ポイント。

所属名のフォントは MS 明朝、10 ポイントをご使用ください。複数名で発表の際には、発表者の前に○印を付け、所属に違いがある場合は、数字のルビを氏名の横につけて区別してください (記載例 1)。

記載例 1

1) : 氏名・所属 : ○北海矯子 ・○○○○矯正歯科

2) : 氏名・所属 : ○北海矯子¹、札幌矯男² ・○○矯正歯科¹、○○歯科クリニック²

2. 本文

抄録本文のフォントは和文、英文、数字ともに全て MS 明朝、10 ポイントをご使用ください。(文字間隔は指定しません)

セファロ等の計測項目と数値の間は半角スペースを開けてください。

(1) 一般口演

1000 字以内 (50 文字 20 行)、【目的】【資料および方法】【結果】【考察】【結論】の形式に従い、それぞれの内容について明確な記載がされていることを必須とする。括弧は、隅付き括弧【】を使用してください。

(2) 症例発表・症例報告

1800 字以内 (50 文字 36 行)、北海道矯正歯科学会雑誌に記載の「症例発表及び症例報告に関する規定」をご参照ください。

用語および用法

【年齢、性別】

年齢は、○歳○か月で記載し、○才、カ月などの漢字やカタカナは使用しない（記載例 1）。

4 週未満-----	新生児
4 週～1 歳未満---	乳児
1～12 歳-----	男児・女児
13～18 歳-----	男子・女子
19 歳以上-----	男性・女性

記載例 1：10 歳 5 か月、女児

【顔貌所見】

(○) convex type、concave type、straight type、symmetry

【口腔内所見】

overjet、overbite、正中線偏位量、A.L.D.などの数値は 0.1mm 単位で記載すること。

(○) Hellman の dental age、Hellman の歯齡、Hellman's dental age

(×) Hellman dental age

歯種は漢数字を使用

(○) 第一大臼歯、第二大臼歯

(×) 第 1 大臼歯、第 2 大臼歯

(○) overbite、overjet

(×) over bite、over jet

(○) A.L.D.は-5.5 mm （ピリオド、数字と単位（mm）の間に半角スペース）

(×) ALD は-5.5mm

(○) I 級、II 級、III 級

(×) I 級、II 級、III 級

アングル分類（Angle 分類）について

アングルの不正咬合の分類は上下顎歯列弓の関係に基づいている。

大臼歯のみの近遠心的関係を表すときは「アングル」は使わず、I 級、II 級、III 級のみで表現する（記載例 2）。

(○) Class I (×) class I (Cは大文字)

(○) 大臼歯は I 級関係である。(Class I molar relationship)

(×) 大臼歯関係は、アングル I 級

(○) 犬歯は I 級(関係)である。

(×) 犬歯はアングル I 級である。

記載例 2 : 第一大臼歯は左側 I 級、右側 II 級

【頭部×線規格写真】

計測項目と数字の間に半角スペースを入れる。
計測値は小数点 1 位で記載 (0.1°単位で)

(o) SNA 77.5°、SNB 80.5°、ANB -3.0°

(x) SNA77.5°、 SNB80.5°、 ANB-3.0°

【診断および治療方針】

骨格性不正咬合の英文表記は、**skeletal Class I** (s は小文字、C は大文字、数字はローマ数字を使用する)。

抜歯部位の記入には、第一小臼歯抜去と記載 (抜歯だと歯が重複するので使用しない) 左右第一小臼歯、両側第一小臼歯など言い方を統一するのが望ましい。

【矯正装置】

.022” slot preadjusted bracket 、multi-bracket 、マルチブラケット装置

chincap、chin cap、チンキャップ

closing-loop arch クロージングループアーチ

high-pull headgear、cervical-pull headgear、ハイプルヘッドギア、ヘッドギア

lingual arch、リンガルアーチ、舌側弧線装置

Nance のホールディングアーチ

nickel-titanium wire ニッケルチタンワイヤー

pendulum appliance ペンデュラム装置

preadjusted appliance プリアジャステッド装置

preadjusted bracket プリアジャステッドブラケット

quad helix、クワドヘリックス

trans palatal arch、palatal arch、パラタルアーチ

II 級ゴム **Class II elastics**

ミニスクリューなどは、矯正用インプラントに統一

【保定装置】

bonded retainer、bonded lingual retainer、fixed type retainer、fixed lingual retainer

固定式犬歯間保定装置

Hawley タイプリテーナー、**Hawley type retainer**

invisible retainer、クリアリテーナー、可撤式クリアー (invisible) リテーナー

spring retainer

wraparound type retainer、wraparound retainer、circumferential type retainer、

その他用語は歯科矯正学専門用語集 (日本矯正歯科学会編) を参考にして下さい。